

平成27年度事業評価報告書（施設名 甫喜ヶ峰森林公園）

項 目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 管理運営に関する評価	限られた職員体制の中で、公園の管理運営を適正かつ効果的に行っている。公園利用者の利便性の向上及び安全確保等への配慮等、きめ細やかな取り組みを継続して実践している。	森林公園としての魅力ある公園づくりが望まれる。 希少植物の保護等を含めた公園の魅力発信についての検討が望まれる。
2 事業実施に関する評価	ボランティア、団体、施設等との連携、協力による事業展開を図っている。体系的な森林環境学習プログラムによる学校への支援が行われている。	防災を意識した事業展開など、公園の特長を活かした新しい方向性の検討が望まれる。 学校支援の際、ニーズと提案内容のすり合わせを図ることが望まれる。
3 利用実績	来園者数は前年度より4,247人増の54,291人となった。 来園者数とは別に学校支援等による職員派遣事業等で3,843人の対応をした。	
4 収支の状況	事業、木工クラフト販売等で収入が大幅に増加している。 前年度より赤字減少の傾向となった。	活動の活性化や自己負担の軽減のための外部資金等の効果的な活用について検討が望まれる。
総合評価	B	①公園利用者の利便性の向上及び安全確保等への配慮等、きめ細やかな取り組みを継続して実践している。 ②体系的な森林環境学習プログラムによる学校への支援が行われている。 ③ボランティア、団体、施設等との連携、協力による事業展開を図っている。 ④森林公園としての魅力ある公園づくりが望まれる。 ⑤活動の活性化や自己負担の軽減のための外部資金等の効果的な活用について検討が望まれる。

- 【評価の基準】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

業務の改善についての意見

改善を求める事項
①希少植物の保護等を含めた公園の魅力発信についての検討と、森林公園としての特長を活かした新しい方向性の検討及び魅力ある公園づくりが望まれる。 ②活動の活性化や自己負担の軽減のための外部資金等の効果的な活用について検討が望まれる。
今後、充実させて取り組むべき事項
①森林公園の特長を活かした新しい魅力発信の検討及び実施 ②収入の確保及び外部資金等の活用による効果的な事業等の実施